

日本肺胞蛋白症患者会 2023年度総会 第15回勉強会

日時：2023年11月4日（土）

総会 13：00～13：50／ 勉強会 14：00～16：00

参加者：患者様、ご家族、ご友人、医療関係者

参加費：無料

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町 カンファレンスルーム 4E

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番21号 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 4階

アクセス：・JR京浜東北線 田町駅 東口 徒歩1分

・JR山手線 田町(東京都)駅 東口 徒歩1分

・都営浅草線 三田駅 A4 徒歩5分

・都営三田線 三田駅 A4 徒歩5分



——会場およびWebにて開催予定です——

患者会会員以外で参加ご希望の方は、

当事務局のメールアドレス jimukyoku@pap-net.jp までメールをお送りください。

ご参加のための Zoom ID およびパスコードをお知らせします。

※「11/4 参加希望」と明記の上、ご氏名とご所属（医療機関・企業の場合）をご記入ください。

・会場にお越しの際はマスク着用をお願いいたします。

・体調不良の症状がある方は、ご来場をお控えいただきますようお願いいたします。

※酸素が必要な方は jimukyoku@pap-net.jp までお知らせください（10月20日〆切）。

第 15 回

肺胞蛋白症勉強会 プログラム (時間の繰上あり)

- 14 : 00～ 開会の挨拶
日本肺胞蛋白症患者会代表 小林剛志
- 14 : 05～ 実用化のカウントダウンが始まった GM-CSF 吸入療法と今後の課題
新潟大学医歯学総合病院 中田光
- 14 : 30～ 吸入器のしくみと効率のよい吸入方法について
村中医療器株式会社 井上直人様

(休憩 15 分・多少前後あり)

- 15 : 15～ 患者会の新たな方向性と若年発症の肺胞蛋白症のケアについて
過去 12 年間の活動を振り返り、次のステージとしての新たな方向性や、小児を含む若年発症の肺胞蛋白症の重症化に焦点を当てた活動の強化を提案。

座長 : 小林剛志
小勉強会からの提案 : 青木由衣様

総合討論

閉会の挨拶
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学 鈴木拓児先生

お問い合わせ先

日本肺胞蛋白症患者会事務局メールアドレス e-mail: jimukyoku@pap-net.jp
電話 080-1247-1766 (会長 小林) / 新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター 025-227-2029